

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。  
※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。  
※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書きください。

## 事 情 説 明 書

平成 年 月 日

氏名.....④

平成 年（家・家イ）第 号

### 1 連絡先

日中に連絡の取れる連絡先（電話番号）をお書きください。

自 宅 .....  携帯電話 .....

### 2 相続人について

(1) 相続人で出頭の困難な当事者が

いる

遠隔地（氏名 ..... ）  病気（氏名 ..... ）

高齢（氏名 ..... ）

その他（氏名 ..... ）

（理由 ..... ）

いない

(2) その他（相続人に関する参考事項があれば記載してください。）

### 3 遺産の範囲

(1) 遺産は、

申立書の遺産目録に記載したものだけである。

他にもあるが申立人は把握していない。

その他（ ..... ）

(2) 遺産が形成された経緯は次のとおりです（ご存じでしたらお書きください。例えば、先祖伝来のもの、被相続人が事業などをして築いたもの等。）。

### 4 遺産の使用・管理状況

(1) 不動産の使用（居住）は次の人がしています。

土地（遺産目録の番号 ..... ）

申立人（ ..... ）  相手方（ ..... ）

その他（ ..... ）

建物（遺産目録の番号 ..... ）

申立人（ ..... ）  相手方（ ..... ）

その他（ ..... ）

(2) 不動産を第三者に賃貸等

している。  していない。

していると答えた場合のみ

土地（遺産目録の番号 ..... ）

建物（遺産目録の番号 ..... ）

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。  
※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。  
※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書きください。

管理しているのは 申立人（ ） 相手方（ ）

(3) その他の遺産（具体的に記載してください）

5 遺言書の有無（有 無）

有と答えた場合のみ

(1) 公正証書 自筆証書（遺言書の検認は している していない）

(2) 遺言書を所持している人

申立人（ ） 相手方（ ） その他（ ）

遺言書をお持ちの方は、その写し（コピー）を提出してください。

6 当事者間における分割協議の有無および経緯

(1) 当事者間で遺産分割の協議を

した（ 回位） していない

(2) 協議がまとまらなかった理由は次のとおりです（主として、誰が、どういう事を主張したので協議がまとまらなかったのか、具体的にお書きください。）。

7 分割希望について

本件遺産分割について申立人としての希望（例えば、不動産の現物分割を希望する、不動産は相手方の取得でよいが代償金を貰いたい等、具体的に記載して下さい。）。

8 特別受益・寄与分の主張について

(1) 特別受益の主張 ない ある（誰に ）

(2) 寄与分の主張 ない ある

9 その他の参考事項（例えば、被相続人の職業、相手方の代理人弁護士選任の有無等）

以上のとおり回答する。（ここに書ききれない場合は別紙をつけて記載してもらっても構いません。）